

一般質問

発言者 五條陽子

発言の要旨(その1)
1 DX社会の推進におけるプラス面とマイナス面の評価検討について
(1) 行政の効率化
① DX推進により、行政事務の紙の使用量はどの程度削減されたのか。
② 本市における情報漏えいに関して、その事象と受け止め、対応、防止策、罰則規定
③ 本市の情報システム導入における、委託事業者の選定基準
(2) 交通施策
① レンタサイクルを、廉価で利用しやすくエコな乗り物として、以前のシステムに戻す、または併用することはできないか。
② 自転車の管理は、高齢者の就労にも好適な位置づけであったと思うがどうか。
③ 多額の市税を投入しDX化を進めた結果、かえって不便な状況が生じ、利用者減を招いたのではないかと思うが、その受け止め
(3) 防災計画
電気や通信が途絶えた甚大な異常時対応について、市の見解と対応策
2 伏石駅バスターミナルの利用状況と市税投入の効果について
(1) 多額の税金を投入した責任上、現在の利用状況をどのように把握しているのか。
(2) 電車とバスの結節が市民に受け止められ、投資効果が上がっていると考えているか。
3 サンポート地区の再生について
本四航路もほぼ全てが廃止された今、何を目標としたサンポート地区再生なのか、復元ポイントの時期や目指す理想像と、その実現性の期待度
4 中央駐車場から本庁舎へのバリアフリー化について
中央公園の再整備、にぎわい創出をする前に、まずは、多くの市民が利用する中央駐車場から本庁舎へのバリアフリー化、合理的配慮に取り組む考え

発 言 の 要 旨 (その2)

5 異常時対応について

(1) 中心市街地やイベントに群衆が参集した時の人流の把握と対応策

瀬戸内国際芸術祭をはじめとして、狭い地域に人が集中した時に、安全確保のために人流をどうやって把握し、コントロールするつもりか。

(2) さぬき高松まつり花火大会の南海トラフ地震臨時情報発表時における、本市施策と対応の検証

① 今年のさぬき高松まつりの花火大会は、南海トラフ地震臨時情報の発令下で、海際に多数の人数、主催者発表で18万人の人出とあったが、サンポート周辺で観客はどの程度だったか。また、どのような防災対策が取られたのか。

② 花火大会中に地震が起きた場合、どのように大衆を誘導するつもりだったのか。

③ サンポート周辺の花火観覧者の避難先・避難経路はどこで、その周知はどのように行うつもりだったのか。

6 防災対策について

(1) 災害時に提供する物資輸送

① 足りない分は、どのように補完されるのか。

② 県と等分と言うが、県と等分とは具体的にどのような意味を指すのか。

③ 流通備蓄を利用と言うが、毎日の食料や物資についても、台風でさえコンビニやスーパーからパンが消える高松であることを、どう考えているのか。

(2) 高松と鳴門、いずれも海辺に位置する都市だが、避難所の定義として、高松は一時的な滞在場所、鳴門は一時的な生活の場所と位置づけている意味の違いをどう捉えるか。